

## 新島の火山活動解説資料（平成 29 年 7 月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

式根監視カメラ（丹後山の西南西約 4 km）による観測では、丹後山山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）

新島付近を震源とする火山性地震及び火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 1、図 3 - ）

GNSS<sup>1)</sup>連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

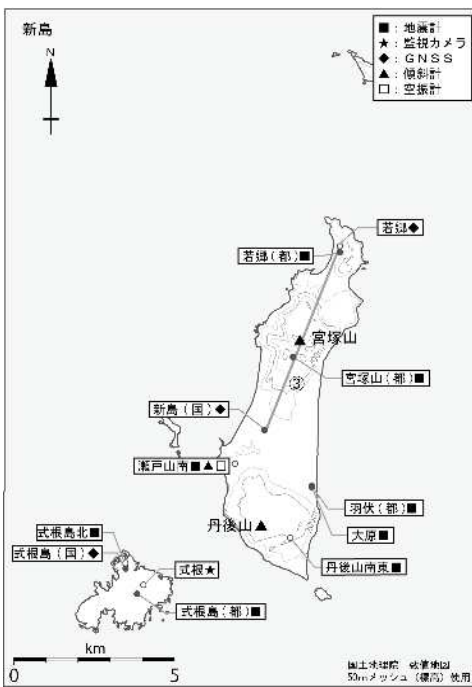


図 1 新島 観測点配置図

GNSS 基線は図 3 の に対応しています。



図 2 新島 丹後山山頂部の状況  
（7 月 12 日、式根監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 29 年 8 月分）は平成 29 年 9 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

【計数基準の変遷】  
 A型地震  
 2010年10月1日(観測開始)～ 瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内  
 BH型地震  
 初期 2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 $\mu$ m/s以上  
 変更 2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 $\mu$ m/s以上

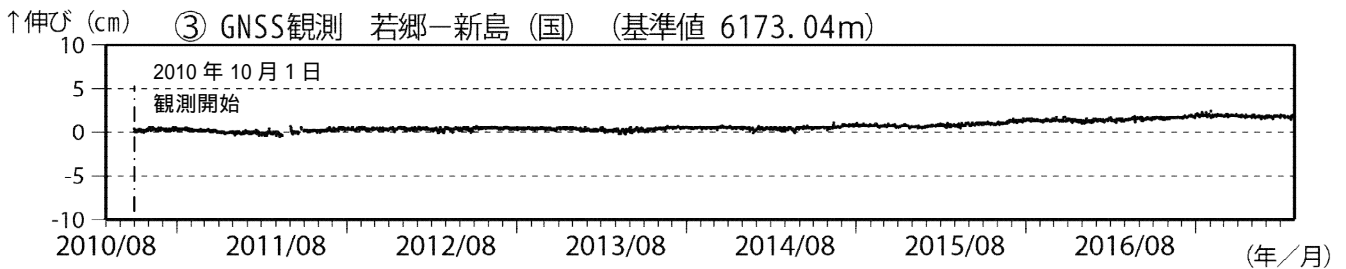
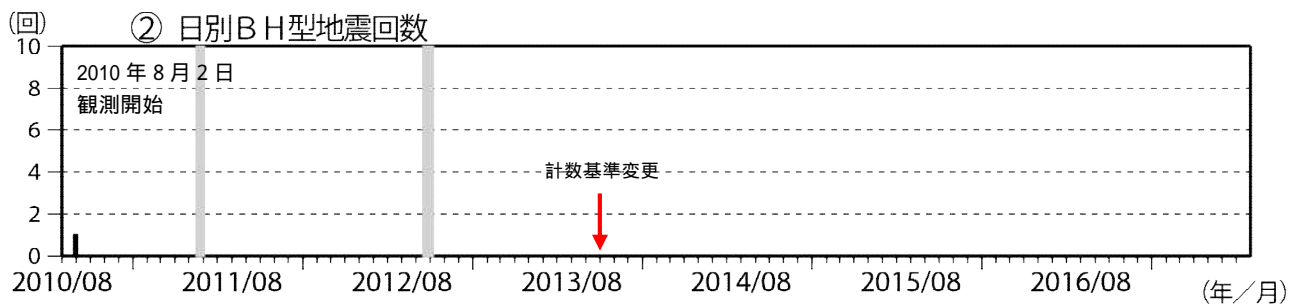
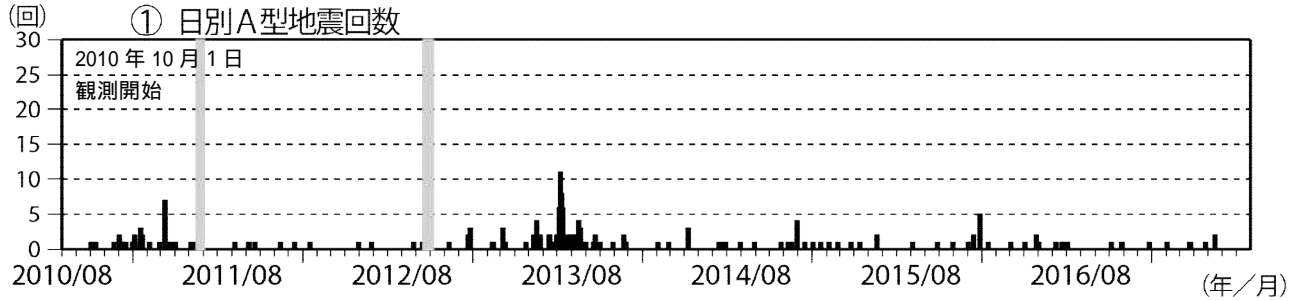


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2017年7月31日)  
 新島周辺の日別地震回数  
 ・図の灰色部分は機器障害のため欠測を示します。  
 GNSS連続観測による基線長変化(国): 国土地理院  
 ・は図1のGNSS基線に対応しています。  
 ・グラフの空白部分は欠測期間を示します。

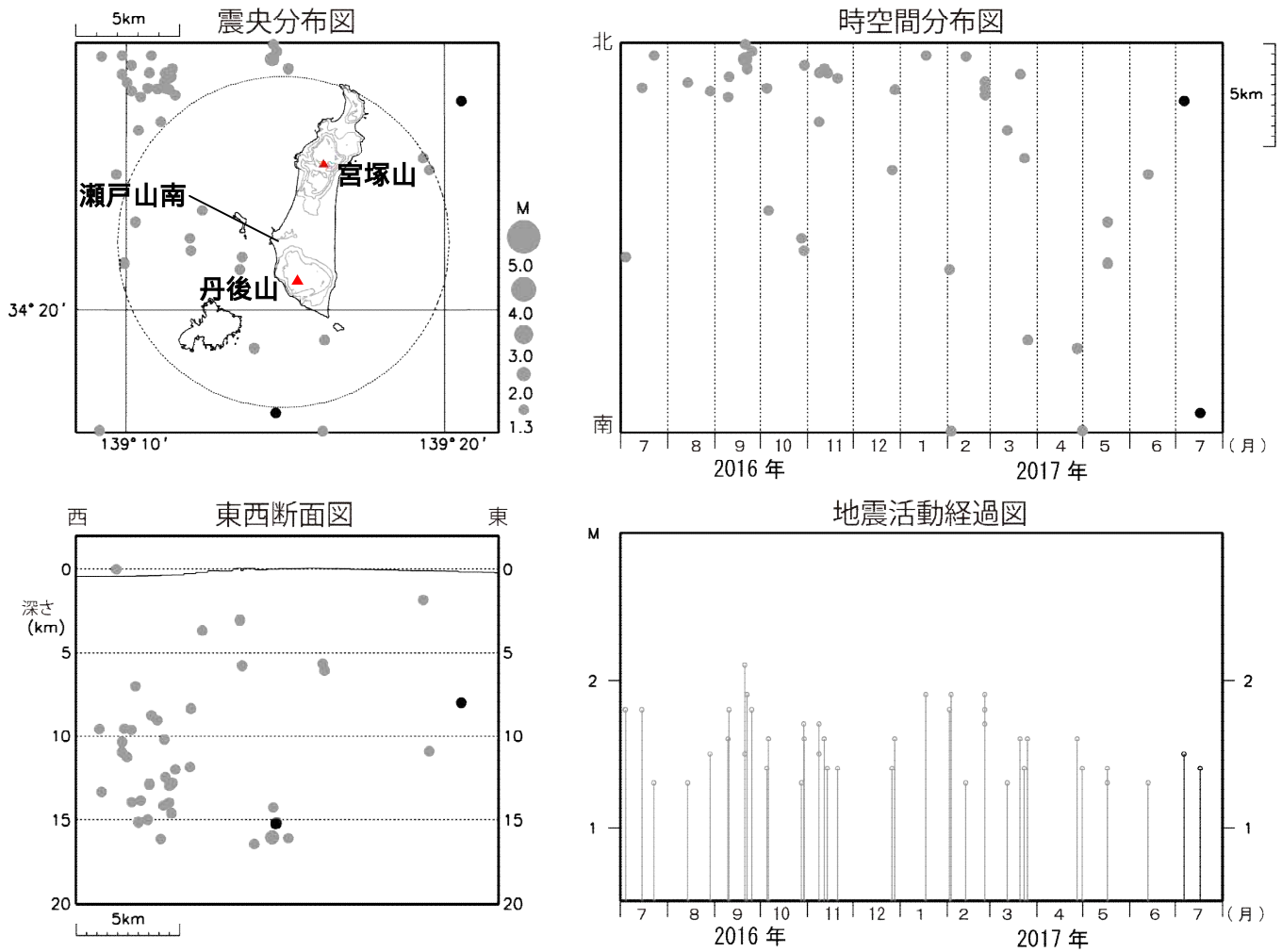


図4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2016年7月1日~2017年7月31日)

：2016年7月1日~2017年6月30日      ：2017年7月1日~7月31日

- ・広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。
- ・M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.3以上の地震を示しています。
- ・図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・計数対象(瀬戸山南から半径約8km、深さ約20km以内)以外の地震が含まれるため、図3 - の日別A型地震回数とは異なります。